

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教 科： 地歴公民 科 目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～7 組

使用教科書：（ 帝国書院 新地理総合 ）

教科 地理歴史 の目標： 歴史的背景を踏まえた考察ができるようにする。

【知識及び技能】	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、地域などに注目して、概念などを活用して多面的・多角的に考慮したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標： 授業を通し、異なる文化や価値観を理解・共有できる人材を育成する

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につける。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、地域などに注目して、概念などを活用して多面的・多角的に考慮したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当
1 学 期	A単元 地図と地理情報システム 【知識及び技能】 さまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 地図や情報システムを用いて、その情報を収集し、読み取りまとめる基礎的・基本的な技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに注目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多目的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・教科書の図表から季節の変化・経度・緯度の考え方を読み取らせる ・プリント ・プレゼンテーションソフト	【知識・技能】 さまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。現代世界の地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	11
	B単元 結び付きを深める現代世界 【知識及び技能】 地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・実際に時差を求めさせる。 ・世界にある国境を画像で紹介して、特徴、国境が決められた歴史的背景について考查させる。 ・地図帳 ・プリント ・プレゼンテーションソフト	【知識・技能】 地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。 【思考・判断・表現】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	11
	定期考查			○	○		1
	C単元 生活文化の多様性 【知識及び技能】 世界の人々の生活文化を基に、生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・世界各地の多様な生活文化を考查するにはどのような方法があるか、教科書や資料集を利用して、考察させる。 ・資料集 ・プリント ・プレゼンテーションソフト	【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	11
	定期考查			○	○		1

2 学 期	A単元 世界の気候と人々の生活 【知識及び技能】 気候の違いが生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 気候の違いが生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について、多面的・多角的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 気候の違いが生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決させる。	・気候の違いによる植生、生活様式の違いについて考察させる。 ・教科書・資料集 ・プリント ・プレゼンテーションソフト	【知識・技能】 気候が生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 気候が生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 気候が生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	B単元 地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・現在、世界規模・地球規模で抱えている環境問題について考察させる。 ・プリント ・プレゼンテーションソフト	【知識・技能】 環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 【思考・判断・表現】 地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	11
3 学 期	定期考査			○	○		1
	A単元 生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。 【思考・判断・表現等】 生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・先進国・発展途上国それぞれが抱えている都市問題について、多面的・多角的にどうすれば持続可能な地域づくりができるか考察させる。 ・プリント ・プレゼンテーションソフト	【知識・技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 【思考・判断・表現】 生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
合計							70

※なお、生徒の理解の進み方等の事情により、必ずしも上記計画の通りに展開するものではありません。